

市民自らが市の事務事業を評価

～平成21年度事業仕分け～

6月28日(日)、市民会館で『事業仕分け』を行いました。
この事業仕分けは、市が行っている事務事業を市民の視点で論議し、その意見を取り入れながら見直しを図ることを目的に行うものです。本年度は試行と位置付けていますが、その結果は、来年度以降の予算にできる限り反映させることとしています。

この日は、一般公開の下、コーディネーターに室蘭工業大学教授の永松俊雄さんを迎え、市民自治推進委員会や連合町内会などの7人で構成される『仕分け人』により、『登別市名誉市民及び功労者表彰・市民表彰事業』などの11事業について、担当者からの概要説明を受けた後、質疑応答を交わしながら事業のあり方について議論しました。

その後、コーディネーターと仕分け人は、別室（非公開）で事務事業を『廃止すべきもの』、『民間を活用すべきもの』、『内容などを見直し市が行うもの』、『現行どおり市が行うもの』に仕分ける作業を行いました。

仕分けの結果は、今後、ホームページや広報のぼりべつなどでお知らせします。



◀コーディネーターとして事業仕分けの司会進行を務める永松俊雄さん

サミットから一年、環境について考える

～のぼりべつペットボトルキャンドルナイト～



7月7日(火)、らいば公園で『のぼりべつペットボトルキャンドルナイト』（同実行委員会主催）が行われました。

このイベントは、地球温暖化の抑止や環境保全について関心を高めてもらうことを目的とし、昨年3月に行った北海道洞爺湖サミット開催100日前イベントを、今年は、サミットが開催されてちょうど1年に当たるこの日に実施したものです。

当日は、町内会や小学校などで製作した約800個のペットボトルキャンドルに、約100人の参加者が火をとますと、夕闇の公園に、市内の小学生が考案した『Go!!エコチャレンジ』と描かれた火文字が浮かび上がり、参加者や買い物に訪れた方の目を楽しませるとともに、環境を守ることの大切さを訴えました。

市民活動センター設置へ向けスタート

～第1回(仮称)登別市市民活動センター設置検討委員会～

7月1日(水)、旧登別自動車学校で『第1回(仮称)登別市市民活動センター設置検討委員会』を開催しました。

この検討委員会は、市民活動を支援し、その活性化を図る拠点施設として整備する(仮称)登別市市民活動センターの開設に向けて、施設構成、企画運営などの必要な事項を検討するための組織です。

検討委員は、地域で公益的な活動を行っている10団体で構成されています。

この日は、市側からセンター設置に向けての経緯や市の基本的な考え方などの説明があり、委員長と副委員長の選出と今後の同委員会の開催日程について決定しました。

検討結果は、8月下旬をめどに市長に報告することとしています。

